

第5回一関市教育振興基本計画検討委員会 会議録

- 1 会議名 第5回一関市教育振興基本計画検討委員会
- 2 開催日時 令和7年12月19日（金）午後2時から午後4時20分まで
- 3 開催場所 一関市役所花泉支所 東大会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 菅原正樹委員、菊地桂子委員、勝部孝行委員、菅原正浩委員、
齊藤耕子委員、佐々木弘克委員、千葉喜代一委員、菊地ワカ子委員、
八巻徹委員、森英隆委員、照井教文委員、館山壮一委員、北村正俊委員、
鈴木宏委員
※欠席者 塩竈素明委員、千葉敏之委員、岩本智美委員、大石敦子委員、
鈴木理香委員、千葉真美子委員
 - (2) 事務局 時枝直樹教育長、千葉せつ子教育次長、藤倉忠光一関図書館長、
佐々木修路副参事兼一関市博物館次長、
氏家克典副参事兼文化財課長兼骨寺荘園室長、
八木浩司副参事兼学校教育課長、小野寺和宏いきがづくり課長、
千葉真学校教育課主幹、佐藤智一学校教育課学校教育係長、
久保木賢学校教育課主任指導主事、
木村修骨寺荘園室室長補佐兼骨寺荘園係長、
千葉邦雄教育総務課長、鈴木真実教育総務課長補佐兼教育企画係長、
菅原光正教育総務課主査
- 5 内 容
 - (1) 計画案の修正について
 - (2) 事業計画案について
 - (3) 計画概要版について
 - (4) パブリックコメントについて
 - (5) 今後のスケジュールについて
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 1人（うち報道機関 1社）
- 8 時枝直樹教育長挨拶

この検討委員会も5回目になる。委員の皆様には熱心にご審議いただき、事務局が気づかない点を含め貴重なご意見をいただいている。おかげさまで、次期計画の核となる基本目標「郷土を愛し、自ら学び、未来を拓く一関のひとづくり」を定めることができ

た。

本日は、前回いただいたご意見を反映した修正内容、具体的な事業計画、そして市民向けの概要版案についてご確認いただきたい。パブリックコメントの実施も控えているため、実効性のあるものになるよう、本日も忌憚のないご意見を願います。

9 勝部孝之委員長挨拶

次期一関市教育振興基本計画の策定作業もいよいよ最終段階に入ってきた。今回は、前回までの議論を踏まえて事務局に修正いただいた箇所を確認、及び計画の実行部分にあたる事業計画や概要版についての協議が中心となる。この後、この計画案はパブリックコメントの手続に入り、広く市民の皆様の目に触れることになる。本日は計画の内容精査はもちろん、市民の方々にこの計画の意図が正しく分かりやすく伝わるか、という視点を持ちながら議論を進めていく。

10 審議内容

(1) 計画案の修正について

事務局から資料に基づき、説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 学校運営への「支援・協力」について、学校にとって支援されているだけでなく、地域にもメリットがある。一方的に支援されるのではなく、地域とともに学校がより良くなっていくという「地域とともにある学校づくり」を目指すべきゴールにすべきではないか。

事務局 学校運営支援協議会規則とも照らし合わせて最終的に判断させていただいた。項目の後半にある通り「地域と学校が一体となって」という部分が一番の理念になる。

委員 共生社会の実現について、「個々の能力や生活様式の違いから」という文言の「能力」という言葉は、高い低いという印象を与えるため、「特性」という言葉の方が適しているのではないか。

事務局 学習指導要領にある「能力に応じた教育」という言葉があるため、「能力」という言葉を使用している。

(2) 事業計画案について

事務局から資料に基づき、説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 新しい事業が増える一方で、削減される事業はあるのか。架け橋期などが加わる分、先生方の負担も考え、事業の整理も必要である。

事務局 事業の精査は常に行っている。

委員 WISC検査者研修会について、特定の検査名を出さず「知能検査」などの広い表現の方が、今後の検査方法の変化に対応しやすいのではないか。

事務局 名称についても柔軟な表現を検討する。

委員 以前の計画にあった「放射性物質測定事業」が見当たらないが、これはどうなったか。

事務局 現在は市長部局の所管となったため、教育委員会の事業計画からは外れたが、学校施設の管理として一斉測定等は継続していく。

(3) 計画概要版について

事務局から資料に基づき、説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 計画本文と概要版の整合性を図ってほしい。

事務局 確認し、整合性が取れるように調整する。

(4) パブリックコメントについて

事務局より資料に基づき、説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 支所の閲覧場所が「地域振興課」になっているが、一般の人があまり行かない場所ではないか。また、一関市出身で市外に住んでいる人は意見を出せるか。

事務局 閲覧場所については1階の目立つスペースに置くよう各支所に依頼する。また、パブリックコメントの対象は市内居住者、通勤・通学者に限定している。

(5) 今後のスケジュールについて

事務局から資料に基づき、説明を行った。質疑応答等なし。

10 担当課 教育委員会事務局教育総務課